

予期しない出来事

9月6日3時8分、胆振東部地域を震源とする震度7の大地震がありました。被災されました皆様に心からご冥福とお見舞い申し上げます。富良野は大きな被害はありませんでしたが、ブラックアウトによる停電で学校は2日間休校となりました。予期しない出来事が起きた場合の冷静な対応の必要性を再認識しました。その対応は看護場面と同様に情報収集、アセスメント、優先度を考えた行動、情報の共有、関係機関との連携です。安心して楽しく、充実した学生生活を送れるよう、さらに学校安全管理に心がけたいと思います。

後期の学生の皆さんの学習の様子をお伝えします。

(校長 澤田貴美子)

第50回 北海へそ祭り 7月28日(土)「マクドナルド賞」受賞しました! ああ～夏の思い出・・・

今年は第50回を迎えた「北海へそ祭り」に学生の皆さんと教員が参加しました。事前に学内で練習し本番を向かえ、見事!「マクドナルド賞」を受賞しました。景品は全学生、教員で分かち合いました。



先頭は板宮君、中嶋君



学校で猛練習し・・・出発。さあ～みんな頑張るよ!



第25回 学校祭「看話祭」8月18日(土)

地域の皆様、入学希望の高校生の皆様の約200人が来校しました。模擬店やお茶会、看護体験、フリーマーケット、緑日などで地域の皆様との交流を深めることができました。今年は3年生の企画による学校説明、学校案内を行いました。学習の様子をこれからも発信していきます。地域の皆様にはフリーマーケットに協力頂きありがとうございます。収益金の一部は胆振東部地区で発生した地震の被災されました皆様に寄付させて頂きました。



全校特別講演 8月21日(火) 大阪在住の放送作家 ダブルマコトさん(中山真さん、中原誠さん)来校!

テーマは「一流芸人に学ぶ人を喜ばせる・輝かせるコミュニケーション術」でした。笑い笑顔いっぱい講演でした。笑顔と笑いあふれるユーモアのある「質の高い看護師」を目指しましょう。講演はスマイルファイブとして①コミュニケーションポジティブ部 ②コミュニケーションの相違 ③コミュニケーションの承認 ④コミュニケーションの見える化 ⑤コミュニケーションの第一印象について、現役の芸人のエピソードを交えた超一流の話し術でした。笑顔、笑いの大切さを実感した有意義な時間でした。



ことぶき大学生と交流会 9月5日(火) 1・2年



交流会の目的は富良野地域で生活している高齢者との交流の場とすること、世代を超えた対象を理解すると共に対人関係スキルを学ぶことです。学生の感想文の一部を抜粋し紹介します。
○祖母・祖父と同じ年であったことからとても話やすく、また、どんな話も笑顔が素敵で明るく私の方が元気や勇気をもらいました。○患者さんと話すときに何を話していいかわからないのは「相手の話をちゃんと聞いていない」と言われた時に確かかと思っ。○病院での看護師の言葉が心に響くことや一言で病気が良くなったり、悪くなったりする。と言う話から学ぶことがたくさんありました。

看護技術発表会 9月19日(木)～20日(金) 1年

看護技術の学習の成果として看護技術発表会を開催しました。熱心に練習した成果を十分に発揮出来たようです。頑張りましたね!



私は技術発表会で技術の向上を図ると共に、仲間と協力して考えることの大切さを学びました。授業で習ったやり方にこだわらずその対象に合った援助方法を考え、他者からの意見を得ることで良い学びができました。松居果鈴

技術発表会前の練習では、夏休みを利用してグループの人達と練習を積み重ねてきました。その日、出来なかった事も帰ってから復習をしてきたおかげで、本番は緊張せず、慌てずにスムーズに行うことができました。田中幸奈

成人看護学実習Ⅰ 9月24日(月)～10月12日(金) 2年

今回の成人看護学実習で学んだことは、対象に起こっている症状を単体で考えるのではなく、いくつか繋げてアセスメントする大切さです。また、その結果から一番優先しなくてはならない援助を見極める大切さも学ぶことができました。 2年 小寺ほのか

私は今回、退院を目指す対象と関わり、その病棟にいるからこそ必要なことや退院のための関わり方を考える必要がありました。特に活動と休息のバランスを対象に合うように考えることの大切さを学ぶことができました。 2年 坂上圭汰

基礎看護学実習Ⅰ-② 11月5日(月)～22日(木) 1年

私が今回の実習で学んだことは、入院中だけのことだけでなく退院後のことも考え対象に合った援助、ADL拡大に繋げるための援助の大切さです。安全安楽の大切さを改めて理解することができました。 1年 繁泉佳奈



基礎実習を終えて、5月は病棟の構造や看護師さんの一日の流れを学ぶことができました。それを生かし、11月では対象と深く関わり対象のための援助を考えることで多くのことを学ぶことができました。 1年 加藤楓子

3年 統合実習を前に、今の心境を聞きました・・・そして、無事終了しました。

- ・家族を含めた看護を展開していく大切さを学べたため、総合実習で生かしていきたい。(赤石)
- ・今回チーム連携の必要性を実感し、統合でも情報共有を大切に取り組みたい。(新井)
- ・対象だけでなくその方の家族にも寄り添った看護が大切であると学ぶことができました。(伊藤)
- ・統合実習に向けて自己の技術や観察力を踏まえて、看護の質の向上ができるようにしたい。(伊場)
- ・連続実習で学んだ知識と技術を生かして、最後の統合実習を頑張りたい。(鶴岡)
- ・連続実習では、各領域で沢山学んだことがあり統合実習では学んだことを生かしていく。(内山)
- ・様々な領域の学びを深めることができました。統合実習でも学びを生かして乗り越えたい。(岡田)
- ・統合実習では今まで培った知識や技術を生かせるようにがんばります。(小野寺)
- ・チーム内で助け合いが大切であるということを知ることができ、統合でも学びを生かしたい。(桐)
- ・様々なことを学べた実習でした。学んだことを今後も生かして頑張りたいです。(鎌田)
- ・患者様の気持ちに寄り添うことの大切さを学ぶことができ、今後生かしていきたい。(菅野)
- ・これまでの実習で学んできたことを最後の統合実習で大いに生かしていきたいと思っ。(工藤)
- ・連続実習では、チーム内での助け合いが大切と学ぶことができたので統合も頑張りたい。(近藤)
- ・連続実習では患者さんの個性にあった関わりを学びました。統合実習でも頑張りたい。(斎藤)
- ・各論実習では多くのことを学びました。その学びを統合実習に生かしていきたいです。(酒井)
- ・あっという間に過ぎ去った連続実習! 統合も毎日笑顔で乗り切る! 国試勉強も頑張るよ。(貫廣)
- ・患者だけでなく家族ケアの大切さも学ぶことができたので、今後生かしていきたい。(高橋花)
- ・チームワークや個性の大切さを学ぶことができたため統合でも生かしていきたい。(高橋美)
- ・連続実習で多くの学びを得る事ができました。統合実習でも今までの学びを生かして乗り越えたい。(土田)
- ・様々なことを学ぶことができたため学んだことを活かせるように次の実習もがんばる。(日塔)
- ・連続実習では様々な分野を通して多くのことを学ぶことができました。この学びを生かしたい。(美馬)
- ・3年間の実習は長かったような短かったような感じがします。統合実習も頑張ります。(村本)
- ・今までの知識が必要とされ、日ごろの学習の大切さを再実感した。統合に向けて頑張りたい。(山川)
- ・各論実習では患者主体で尊重することの大切さを学びました。統合でも個性を大事にしたいです。(山岸)
- ・今回の実習では、メンバーとの協調性を学んだ。統合でも協力して患者様を支えていく。(山本)
- ・6クールを通して分野別で看護を深めることができました。統合でも学びを生かしていきたい。(結城)
- ・患者様や家族の思い、希望を尊重することの大切さを学べたので、統合実習でも生かしていきたい。(横井)
- ・細かくアンテナを張ってアセスメントすることをより深く学んだので次の統合に生かしたい。(吉川)

11月26日(月)～12月14日(金)の3週間は統合実習でした。雪の降った日も、しばれた日も、実習の困難なことにも負けずにメンバーと協力し、助け合い最後の臨地実習を乗り越えました。「よく頑張りました!!」それぞれの課題を達成することができ、そして卒業後にむけて新たな目標を見出すことができたと思っ。3年間のカリキュラムは一つ一つ達成しゴールは間近です。次の看護師としての人生のスタートも近づいています。

研修旅行 3年 11月14日(水)～16日(金) / 2年 15日(木)～17日(土)

標本室の見学では、見たことがないものやここで見学しなければもう見ることはできないものがあり、様々なことを学ぶことができました。また、解剖生理を学ぶことの大切さを再認識することができました。
自主研修ではディズニーシーに行き、色んなところをまわり非日常的な雰囲気を楽しむことができ気分転換となりました。見学で学んだことを生かし、最後の統合実習も頑張りたいと思っ。 3年 日塔満里奈



3年生 全員でピース!



2年生 赤門前でピース! 全員いますか?

お知らせ: 25期生からは2年次に研修旅行(東大標本見本室)にいきます。

私たちは研修旅行で東京に行きました。1日目は東京大学の標本見本室で普段入ることの出来ない標本を見学しました。2～3日目は自由行動で買い物したり、有名人にも3名ほど遭遇したりして楽しかったです。富良野に着いたときにいつも通りの富良野の土地の温かさに安心しました。 2年 竹花悠理

ケーススタディ発表会 18日(火)・19日(水) 3年

3年次の領域別実習での看護実践展開を振り返り、論文としてまとめたケーススタディ発表会がありました。18日は2年生、19日は1年生が聴講し、質問や感想が数名からありました。臨床の指導者の皆様のご参加をいただき、温かなご助言ありがとうございました。

年々、ケーススタディ論文の質が向上していることを実感し、個々の成長に涙腺が緩みます。29名の看護の目標は「患者さん中心の看護」へ看護師らしくなり、看護師の卵はもう少しで、自力で殻を破り巣立つ卒業が3月6日です。モードを切り替え、国家試験にむけてガンバレ!!

「看心ふらの3号」平成31年3月6日発行予定

